

## アルコール健康障がい対策部会における 「女性の飲酒問題」等に関する意見等

※（ ）は、意見等のあった会議・部会の年度と回

### 女性の飲酒量の問題に関して

- 女性や高齢者の依存症が問題となっている。特に女性については、大きな問題。生活習慣病のリスクを高めるほどの量を飲酒している者の割合は、平成 22 年からの推移で見ると、男性では増減は見られず、女性は、増加している。(H30 部会①)
- 高齢者への取り組みの重要性とあわせて、女性の対策を考える必要もある。国の目標では女性のハイリスク飲酒を 2021 年までに 6.4%に減らすとしているが、実際には増えている現状にある。市町村では、アルコールの専門相談としての実績は少ないが、幅広い対象に健康相談を数多く行っているため、アルコールに対する適切な指導・啓発が適宜行えるよう、資料・媒体を準備しておく必要がある。(H30 部会②)
- 女性の生活習慣病のリスクを高める飲酒割合が高くなっているのは、大阪府の傾向と国の傾向が同じになっているが、ストロングのチューハイの影響が大きいと思われる。(R1 部会①)
- 女性において生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている割合が増えていることが気になる。全国も同じ傾向であり、その背景にはストロング系チューハイの影響が大きいのではないかと、思う。(R2 部会)

### 虐待・子育てとの関連に関して

- 母子の虐待ケースの中で、アルコール問題が絡んでいることが多い。要保護児童対策地域協議会への啓発、家庭の中に介入できるシステムを織り込んでほしい。(H29 部会①)
- 生活保護を受給している方の中には、家族と別れた人、離婚して母子家庭になった等、アルコール問題のある人が多い。(H29 部会②)
- アルコール問題は回復への過程でいろんな人が巻き込まれており、その中で子育て支援との連携も重要になってくると思う。妊娠中から問題になっているようなので、その段階からアルコール問題を発見していかないと虐待問題へのアプローチは難しい。(R1 部会①)

### その他

- 近畿圏で女性を支援していく回復施設があまりない。⇒ いちごの会には女性ユニットがあり、女性の居場所を作っている。(R1 部会①)
- (いちごの会) 最近、若干女性の利用者数が増えてきている。(R2 部会)
- 女性向けの啓発等の資料ができれば、ぜひ QR コードを盛り込んで、最新の知識にアクセスしやすいようなものにしていただきたい。(R1 部会①)